

平成28年度 第2回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会
(第1回プラン見直しのための会議) 会議録

日 時：平成28年6月2日（木）

午後1時30分～午後3時30分

場 所：市役所 第3会議室

出席委員：横山貴子・小宮山洋子・勝又浩吉・渡邊恵子・小松豊・勝間田和子
小宮山なほみ・山崎喜三・平野昭弘・湯山有朋
勝又欣也・中川鈴代・佐藤正博・根上英志・勝又文弘
アドバイザー：牛山教授（明治大学政治経済学部）
明治大学：吉澤佑葵、黒石啓太
事務局：村松次長、勝又統括、鈴木主事、寺島主事

1 開 会（湯山委員）

2 会長あいさつ（渡邊会長）

3 協議事項について（進行：渡邊会長、説明：鈴木）

プラン改定に関する委託契約先である明治大学の2名より自己紹介

（1）はじめの一步部門審査及び審査用紙について

＊前回協議会の意見をもとに、新審査用紙（案）を作成した。

実際にはじめの一步部門を審査し、出た意見をもとにさらに修正を加え、
次回6月10日の市民提案審査時に最終版を使えるようにする。

（事務局より）

- ・審査用紙が決まっているのは「推進指針」ではなく手引きなので、協議会の総意で変更が可能
- ・はじめの一步部門「御殿場ラン&ウォークパトロール事業」概要説明

10分ほどで審査用紙に記入し、回収、集計。

集計の間に

（2）「御殿場市市民協働型まちづくり推進プラン」の見直しについて

＊資料に基づき、事務局より説明→質疑なし

(1) はじめの一步部門審査及び審査用紙について に戻る

審査用紙集計結果を公表

団体名	点 (40点満点)
御殿場ラン&ウォークパトロール隊	28.2

続いて、事務局より審査用紙に記された委員のコメントが読み上げられた。

【審査用紙コメント】

- ・募集人員の拡大。
- ・現実には危険な状態に出会った場合の対応は…？
- ・市内6地区をこの方法でパトロールするのは困難であると思う。※パトロール回数、交通安全指導員との関係、巡回距離等。
- ・安心安全の取組としては発展性が大いだが、防犯関係の組織との関係とのつなぎをどうするか、行政支援が必要。
- ・日照時間が変わったりすると難しいと思うが、頑張っけて続けてほしい。参加者を増やすことが大切だと思う。
- ・保険への加入をお願いします。
- ・構成員の拡大による事業展開を見てみたい。
- ・社会教育課（青少年センター）で街頭指導（駅周辺）、校区補導を実施しているので、お互いに情報交換できればと思います。

委員：市内全域で実施が可能なのか？富士岡地区だけでもゆうに2時間はかかる。

委員：徐々に広げていくことを目指しているという意図であろう。最初は小規模な範囲でまずはやってみることが重要であると思う。

委員：貴重な事業だと思う。

委員：保険には加入しないのか。

委員：同意。保険には加入した方がよい。

牛山教授：ボランティア保険への加入は必須であろう。

事務局：保険は、加入をしてもらいたく過去に実績がある保険会社を教えたが、どこも加入できなかったとのこと。その時点で加入する場合は自己資金より支出するとの事だったので、再度調べるよう働きかけたい。

委員：満額交付決定でよいか。

一同：賛成。

☞ 御殿場ラン&ウォークパトロール隊 補助金額：50,000円

牛山教授：審査を行うにあたって、何点ぐらいが合格なのか基準があった方がよい。
7割で28点（40点満点）。目安として、6割（24点）未満は不合格であろう。

委員：4～5割の得点率は不合格というように、合格点数はあった方がよいと思う。
団体に点数の結果は言うのか？

事務局：詳細までは出していないが、HP上の議事録内に合計点のみ記載している。

牛山教授：大田区は落ちた時は出さない。御殿場市でも検討した方がいい。

委員：ボーダーラインは設けずに、その都度協議した方がよいのではないか。

一同：賛成。

（審査用紙について）

牛山教授：審査用紙に氏名を書いていない自治体はない。誰が何点を付けたのかあぶり出すという目的ではなく、提出していない人の確認や疑問点の解決といった事務処理上の必要性がある。2枚書いて1枚を自分の控えとするのではなく、記名式にすることで返却もできる。

委員：名前を入れるのに抵抗がある。誰が書いたか公表されるわけではないことは理解しているが、名前がないから本音を書ける。

委員：報酬をもらっている以上、委員として（名前を出すぐらいの）責任がある。

牛山教授：気持ちは分かるが事務処理上あった方がいいのではないか。事務局には守秘義務があるので、名前は絶対出さない。

委員：名前は出してもいいと思う。出すことで、じっくり考えることにつながる。

委員：申請書類の参照項目の順番と、審査用紙の項目の順番が連動した方が審査しやすい。市民提案部門とはじめの一步部門で、上下に同じ審査項目を合わせる必要はなく、はじめの一步部門も左詰めでよいと思う。

委員：記入スペースはA3サイズでなくても大丈夫だと思うので、両面となっているのをA3縦片面でまとめた方がわかりやすい。

→ 記名式とする。※ただし、事務処理上の必要性であって名前は公開しない。
1枚だけ配り、集計時にコピーをし返却することで自分の審査が手元に残るようにする。サイズはA3片面とし、申請書類の参照項目と審査項目の順番が連動するようにし、それぞれの部門の記入位置は揃えない。
（別紙のとおり）

（その他）

委員：昨年度の事業決定は、広報ごてんば8/5号に掲載されて初めて知ったが今年の予定は？

事務局：決まった段階で送付する。（７月１日の協議会時に配布）

４ その他（事務局より説明）

（１）メールアドレスの提出について

＊市民協働事業の開催や、軽微な事務連絡を円滑にできるようＥメールアドレスの提出を求めた（６月１０日現在１３人／１８人提出）

（２）第３回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会（平成２８年度市民協働型まちづくり事業補助金事業公開提案会・選考会）

＊行政提案を含めた応募状況の説明、６月１０日日程説明

＊富士岡地区まちづくり実施部会（加速化交付金事業）について次長より説明

５ 閉 会（山崎委員）